

## 第2次恵那市地域計画

### 串原地域自治区

#### 【キャッチフレーズ】

自然と文化を育む笑顔あふれる交流のまち

#### 【地域の現状】

串原地域は急峻な地形の山間地に形成されており、それ故に道路が急勾配で狭くカーブが多い。また、まとまった農地が確保できないうえに鳥獣被害も多いなど発展を阻害する条件が多く、雇用の場などを求める若者の流出に歯止めが掛からず少子高齢化が進み、過疎化の一途を辿っている。

しかしながら市の南玄関口として愛知県に隣接し、名古屋市や豊田市などの都市部に比較的近く、矢作川流域の結びつきが強いなど立地条件は良好である。また、平成に至るまで合併を経験していないため地域内の住民の団結力は強い。住民の考え方があまり閉鎖的でないなど、以前からそれらの特色を活かしての観光交流事業や空き屋対策など様々な事業に取り組み、実を結んできている。また中山太鼓や歌舞伎など伝統文化の保存継承や、温泉など既存の観光施設の振興、生活道路の維持管理、豊かな自然を活かすための花木植栽など地域住民一丸となった活動を展開している。

#### 【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

地域に存在する大切な財産である豊かな自然や温泉・販売・宿泊・文化・体験などの施設、太鼓・歌舞伎・へぼなどの伝統文化、そして住民の温かい人柄と団結力を活かし、地域の活性化を図る。

自然を活かし、四季の移ろいや自然体験・農林業体験などを通じて観光客を呼びこみ、既存施設を効果的に運用し、地域の雇用や環境保全に繋げる。また伝統文化の保存継承による住民の生きがいつくりや人材育成を推進し、伝統文化そのものを地域のPR材料とすることで、内外へ串原という土地を発信していく。

子育て環境や公共交通機関、医療施設や福祉施設など住民にとって必要であるが不足しているサービスは、住民の人柄と団結力を活かし、お互いに補える部分は助け合い、できないものは行政などに積極的に働きかけていく。

それらにより現在、串原で暮らす住民が明るく元気に楽しく、いつまでも串原で暮らしたいと願う地域をつくり、またその魅力に惹かれ都市部から観光者や移住希望者が増えるような地域を目指す。

## 【計画の柱(基本目標)】

### 1. 今ある自然を資源として活かそう

豊かな自然と既存の施設を大切にし、保全や改善に努めていく。遊休農地や空き地・空き家も地域の財産として活かし、移定住を積極的に推進する。

### 2. 響け！伝統文化と学びで繋がる串原

伝統文化の保存伝承を生きがいとし、人材育成・生涯学習、またPR材料として利用することで、住民相互の絆としての繋がり、都市部と繋がりに結びつけていく。

### 3. 世代交代と耐える力 ～いつまでもくしはら～

串原という地域がいつまでも存続するためには、現在住む人たちが串原で明るく楽しく暮らし、その生活を子や孫の世代へ伝え、お互いに助け合い、支え合っていくこと（耐える力）が必要である。そのために現在ある施設や資源、串原の良いところを維持し、安心して暮らせる豊かな地域づくりに取り組みます。

## 【基本施策】

計画の柱1：今ある自然を資源として活かそう

### (1) 既存施設の充実と見直し

リニューアルオープンを実現したささゆりの湯を今後更に「観光の核」として効果的に活用し、既存の観光資源施設「体験道場」、生産物直売施設「みちくさ」の修繕や整備及び今後の有効活用についても検討し、実現に向けて取り組みます。

また、串原の豊かな自然を活かしつつ周辺整備をおこないながら、観光客にとって「また訪れたい」魅力ある地としていきます。

### (2) 田畑等の維持・山林の利活用

遊休農地の増加に伴う草刈り作業や日常管理など課題解決に向けスマート農業技術の導入や営農組織作りなどを積極的に進めていきます。山林においても多面的価値を再認識し、間伐の推進や間伐材の利活用により、環境保全と雇用の確保に繋がっていきます。

また荒廃した農地や山林を宅地として利用できる場所は整備し、広く情報発信を行い移定住などに運用していきます。

### (3) 施策の項目 空き家の利活用

空き家を整備することで、地域の防犯と環境保全に寄与し、移定住の促進にも活用する。整備にあたっては家族向けのみでなく、単身者も利用できるような整備を考慮していきます。

#### (4) 施策の項目 道路の整備

地域内に雇用の場や生活に必要な施設が少なく、急峻な地形である串原にとって地域内外ともに道路整備は最重要課題である。特にリニア中央新幹線開通に伴い増加が予想される観光客や、隣接した愛知県などの都市部からの観光客を招き入れるために幹線道路網整備は必要不可欠である。維持管理については住民が積極的に関わり、整備については行政に強力に働きかけていきます。

#### 計画の柱2：響け！伝統文化と学びで繋がる串原

##### (1) 知恵・技の伝承と新しい取り組み

中山太鼓や歌舞伎はもとより、野菜づくり、こんにやくづくり、へボ文化を含め、年長者から次世代へ、串原の文化を伝承し、「串原の良さ、ならでは」を継承していきます。

特に「へボ文化」の継承は昆虫食が世界中から注目されることから、新商品の開発、へボ採りを新しいアウトドアスポーツの一つとして展開するなど新しい発想で継承していきます。

##### (2) 体験学習の推進と積極的なPR

里山ならではの田舎暮らし体験・散策体験・山林作業体験、中山太鼓の体験教室など、ニーズにあわせたカリキュラムを作成し、都市住民との交流を図ります。

田舎暮らし体験をする施設の増と充実を図り、人口増加に繋げる活動をしていきます。

体験に関する情報はインターネットメディア、特にSNSなどを活用し広域に発信し体験への参加を呼びかけます。

##### (3) 生涯学習の推進

「市民三学串原塾」や「コミュニティ講座」「読書活動」など「自ら学習する場」に積極的に参加し生涯学習を推進します。また、コミュニティセンターを生涯学習の拠点、地域の交流の場としてPRしていきます。

##### (4) 人材育成と活用

串原小中学校が行う、ささゆり・ほたる・こんにやく・歌舞伎・中山太鼓などを教材としたふるさと学習への地域講師による積極的な協力を通して、後継者育成を図り、人と自然、伝統文化・技術を継承する。

### 計画の柱3：世代交代と耐える力 ～いつまでもくしはら～

#### (1) 地域ぐるみで安心子育て

串原の将来を担う子どもたちを育む環境づくりに、地域住民が連携して取り組みます。

#### (2) 住民全てが楽しめる場所の構築

子どもから高齢者まで、広く楽しめる場所や機会（イベントやサークル）を構築することで交流を深め、お互いに気にかけて合うような関係性をつくる。

#### (3) 住民同士の支え合い

地域住民がお互いに支え合い、独居世帯や高齢者世帯が安心して暮らすための「みまもり」体制（仕組み）をつくります。

また、通院や買い物などの移動手段として「くしばす」の利用促進と運行体制の充実を図ります。

#### (4) 次世代リーダーの育成

急速に進む人口減少と高齢化の中、地域内の人材は貴重で、地域を存続させるためにも、その貴重な人材を活かして世代交代が必要である。各分野で若者の参加を促し、先人に学び、それぞれができることから後継者やリーダーを育成し、世代交代を図ります。

#### (5) 安心・安全に暮らす

災害発生などの有事に備え「自分たちの暮らしは自分たちで守る」を合言葉に、「自主防災組織」の育成強化に努め、各自が防災に対する意識の高揚と役割を持って有事に備える体制づくりに取り組みます。

## 【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>柱1：訪れたいまち （3）新しい観光資源の活用・リピーター対策</p> <p>柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加推進</p> <p>柱1：賑わいと活気のあるまち （2）団体やイベントの相互連携による賑わいと活気</p> <p>柱1：今ある自然を資源として活かそう （1）既存施設の充実と見直し</p> <p>柱2：豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作 （1）観光施設の充実による賑わいのあるまち</p>
<p>取り組み内容</p>	
<p>◎広域観光による地域活性化（観光） 共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指します。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆岩村町</li> <li>☆山岡町</li> <li>☆明智町</li> <li>☆串原</li> <li>☆上矢作町</li> </ul>	<p>柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成）</p> <p>柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （2）山岡の特色を活かして交流人口の増加・推進</p> <p>柱4：郷土の魅力と誇りを次世代へ （1）郷土に学ぶ</p> <p>柱2：響け！伝統文化と学びで繋がる串原 （4）人材育成と活用</p> <p>柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動</p>
<p>取り組み内容</p>	
<p>◎文化や人材の交流による人材育成確保（文化） 恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努めます。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱1：訪れたいまち （6）人材確保（育成） 柱4：多くの町民が参画する活力あるまち （1）新たな仕組みづくり・雰囲気づくり 柱3：若者を中心とした地域力の向上 （1）若者が活躍できるまち 柱3：世代交代と耐える力 （4）次世代リーダーの育成 柱4：知恵と、技、喜びをつなげる ふるさと上矢作 （1）人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動
取り組み内容	
◎恵南地域の若者達の能力活用と支援 若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋がられるよう支援していきます。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆岩村町 ☆山岡町 ☆明智町 ☆串原 ☆上矢作町	柱2：住み続けたいまち （3）交通手段の確保 柱2：安全で安心して暮らせるまち （3）地域が家族になる「あんじゃない」のまち 柱2：安心していつまでも住み続けられるまち （4）地域の安全・安心な交通の確保 柱3：世代交代と耐える力 （3）住民同士の支え合い 柱1：いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち （3）安心で快適なまちづくり
取り組み内容	
◎高齢化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上（福祉） 公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図ります。	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆山岡町 ☆串原 ☆上矢作町	柱3：山岡の「よいところ」を活かすまち （1）地域資源を活かした体験型プログラムによる交流機会の提供 柱1：今ある自然を資源として活かそう （2）田畑等の維持・山林の利活用 柱1：農林業を活かした躍動する元気なまち （3）地球環境を守り、森林づくり活動に対する協力体制
取り組み内容	
◎木の駅等を活用した自然環境の保全と、地域通貨導入の検討（環境） 間伐促進等による地球環境整備と森林保全による災害防止を図りつつ、木の駅プロジェクトの導入により、間伐材等の有効利用と、地域通貨による活性化の輪を広げていきます。また、山林が若者の雇用の場となるよう支援します。	